

## 第 15 回えざわ会

林 千廣 (鉱山 S36 年卒)

東京大学の前身 開成学校 正岡子規や夏目漱石が学んだ東大予備門や野球発祥の地の跡地に建てられた学士会館で 3 月 29 日に開催されました。

東京の桜は 23 日に開花宣言されてから一週間で満開になると言われていましたが、今年は二分咲きの東京へ京都、仙台、松山からもご参加されて、総勢 14 名の参加者となりました。

ご出席者の卒業年次は昭和 34 年から 42 年、この間には高度経済成長期で神武、岩戸、いざなぎ景気と続きました。昭和 39 年の東京オリンピック開催に向けてオリンピック景気、ビル建設、新幹線、都内高速道路建設、都内路面電車の廃止等々激変していきました。

経済成長の陰に隠れた振動、騒音、工場の排ガスや排水、車の排ガスなど社会問題となり、公害問題を解決していった時代でもありました。

この間に輸入関税撤廃や為替レートの一ドル 360 円の固定相場から変動相場になりました。その結果、政府からの鉱産物に対する補助金がなくなった上に安価な輸入品により石炭鉱山、金属鉱山が次々に閉山していく激動の時代でもありました。

現在稼働している鉱山は菱刈金山のほか石灰石鉱山くらいとなりましたが、世界遺産として、端嶋炭鉱 (通称 軍艦島) と石見銀山として残りました。

鉱山跡地利用としては神岡鉱山の坑内研究施設「カミオカンデ」によりニュートリノを観測してノーベル賞につながられました。

観光施設として、佐渡金山、土肥金山、別子銅山、足尾銅山、尾去沢銅山など坑内観光施設が整っています。特に別子銅山はマイントピアをはじめ別子山から端出場 (マイントピア) まで坑口、精錬、学校、病院、迎賓館、神社、銅越峠、東平、レンガ作り貯鉱舎、水力発電所等の遺跡の道が整備され、遺跡ごとの説明も完備しています。

常磐炭鉱は坑内温泉水を使ったレジャー施設「常磐ハワイアンセンター」が繁盛しています。

花岡鉱山は選鉱工場と鉱水設備を活用した汚染土壌の無害化と選鉱技術を駆使して廃家電製品の解体、選別し有価金属の回収と発生ダストの焼却処分のほかに露天掘り跡地に産業廃棄物の埋立事業も行っています。

小坂精錬設備や製錬技術を使って有価金属含有物からいろいろなメタル回収や廃棄物焼却処分と廃棄物埋立処分事業を行っています。これらの事業は鉱水処理場と排滓ダム施設のおかげで成立っています。

小坂町は観光事業にも力を入れて、小坂鉱山から明示に建てられた鉱山事務所の移築、明治時代に輸入された機械類館、従業員の娯楽施設だった康楽館等に移管しました。

康楽館では初夏に有名歌舞伎公演が開かれ沢山の観客が来ています。

また、小坂町は東北自動車道小坂インターで下りてから十和田湖観光への玄関口でもあり、樹海ラインを使うと、発荷峠展望台を経て十和田湖畔の中心地、休屋へは車により約 30 分位で行けます。

坑内測量実習をした柵原鉱山は坑内で黄金ニラ栽培や坑内に気密室を作り大学のスポーツ研究所もあります。

春爛漫の美酒に酔いしれて学生時代に若返り、学生に優しく、優雅な松山での教養課程時代の道後温泉、繁華街、梅津寺での水泳など。その後、新居浜での専門課程、鉱山実習、石鎚山登山、垣生海岸の水泳、ダンスホールなどなど懐かしい思い出を談笑してアットゆう間に時間となりました。

最後に、白寿でご逝去された恩師江澤先生がお好きだった「アリラン」を岩丸さんのハーモニカ演奏で、在りし日の先生を偲のび全員で合唱しました。

末筆ながら毎年御世話いただいている幹事長首藤さん、会計神田さん、事務局中村さんに感謝申し上げます。

出席者 伊藤 伴 寺内 岩丸 首藤 白髭 宮井 田中 藤原 神田 中村 大門 築田

